

平成27年度の環境美化推進委員26人決まる

(新)は新任 4月1日現在(敬称略)

自治会名	氏名	自治会名	氏名
町屋	加藤 亘	宮前	柴田 好子
店屋場	大津 保	かなん沢	草野 英幸
神山	佐々木一人 (新)	中里	伊世井和代 (新)
茶屋	鍵和田 満	城山	平原 有郎 (新)
河内	山口 弘行	仲町屋	井上 敏行 (新)
中丸	押尾 善則	萱沼	安藤 泰治
中央	中村 敏男	弥勒寺	西館今朝男
仲町	佐藤 英三	中山	石井 清子 (新)
新松田	岡田 忠久	土佐原	岡部 一夫
谷戸	永田 和男	宇津茂	野口 明
中沢	北村 正秋	大寺宮地	菊地 菊夫 (新)
沢尻	北村 義治	虫沢田代	井上 秀樹 (新)
谷津	小嶋 徹	湯の沢	小野 典子 (新)

地域が一体となって取り組む美化活動と住みよい環境づくり。各地区の平成27年度環境美化推進委員26人(うち新任8人)が決まり、4月から活動されています。

環境美化推進委員は、環境にやさしいごみの減量やリサイクル、環境美化の啓発など、快適な生活環境づくりを総合的に推進していきます。

【問い合わせ】環境上下水道課 環境係 ☎(83)1227



地域サロンオープンに向け準備中。皆様のご利用をお待ちしています。

6月2日(火)「お休み処

新松田」(地域サロン)ははじめます!

桜まつりの期間中、ロマンス通り商店街の一角に「お休み処」が毎年開設されているのをご存じでしたか。この度、高齢者を主体に、年齢、障害を問わず地域の皆さんが誰でも立ち寄ることのできる居場所として「お休み処 新松田」が6月2日からオープンします。

居場所とは地域に住む多世代の人々が自由に参加する場所です。居場所では、そこにいる人との交わりによって生きる意欲が高まり、それぞれの関係の中から共感が生まれ、それが

様々な助け合いに発展することを目指して全国各地で、多様な形態で運営されています。

「お休み処 新松田」は、新松田自治会の協力を得て、地域の皆さんで場所の管理・運営を行い、町や関係機関も協働して活動を展開していきます。地域の皆さんの作品展示のほか、障害者の皆さんの作品展示等も順次行っていきます。ぜひお立ち寄りください。

原則、平日の午前、午後の開所になります。ご自身のスタイルでお過ごしください。

【問い合わせ】福祉課 高齢介護係 ☎(83)1226

発令内容	町民の皆様をお願いする行動
自主避難	1. 自主避難を希望される方は、安全防災担当室まで連絡ください。 2. 必要に応じて地域集会施設などに避難してください。 3. 避難する場合、非常食や生活用品をご自身で用意してください。
避難準備情報 (土砂災害) (はん濫注意水位)	1. 災害時避難行動要配慮者の方は支援者とともに、指定された避難所へ早めの避難行動を開始してください。 2. 上記以外の方は家族等との連絡、避難中の食事・飲み物・非常時持ち出し品の用意など、避難準備を開始してください。 3. 避難するかしないかをご自分の意思で決定してください。
避難勧告 (土砂災害) (避難判断水位)	1. 通常の避難ができる方についても、避難を始めてください。 2. 避難する場合、非常食や生活用品をご自身で用意してください(身分証明書・献血手帳があれば携帯してください)。 3. 避難するかしないかをご自分の意思で決定してください。
避難指示 (土砂災害) (はん濫危険水位)	1. 避難勧告などの発令後で避難中の方は、確実に避難を完了してください。 2. いまだ避難していない方は、直ちに避難行動に移るとともに、その余裕がない場合は生命を守る最低限の行動として2階への避難や近所の高い建物に避難をしてください。

【問い合わせ】総務課安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84)5540

第1回 水害・土砂災害のときは身の安全を確保しましょう。

こちらの安全防災担当室

毎年5月5日はこどもの日。今年も寄自然休養村管理センターで『若葉まつり』を開催し、約8500人という、昨年より約1000人も多くの皆様に楽しんで頂きました。本年も、ふるさと大使の北川大介さんが祭りを盛り上げてくださり、また、大使としての名刺をお渡しし、松田町をさらにPRして頂けるようにお願いした次第です。

さて、松田町は、古くから交通の要衝として栄えて来た町(栄えて来た分、様々な地元素材が実っている町)。

私は、松田町の先人が大切にしていた地元素材を「温故知新」の思いで、輝かせたいと考えています。本年で建立1700年を迎えた寒田神社や寄神社、神山神社、松田大行列などの町の歴史や文化、地場産品のみかんやお茶やゴボウなどの根菜類などもとより、地域素材として、最明寺史跡公園や松田山の桜、寄のロウバイなどもあります。最近では、ふるさと大使の北川大介さんや山崎一さん人も素材ですし、寄さくらマスなども同様に町を輝かせるための新しい素材です。

ただ、すばらしい素材もそれを活かす人によって変わって来ます。

料理で例えたら、同じ素材でも和食・洋食・中華料理などによっても活かし方は違いますし、料理人の腕次第で事もあろうでしょう。

これからの時代は、情報ネットワークを活用するなど、ニーズに合った地元素材の活用の仕方を考えなくてはなりません。その為には、その素材(物)を活かす料理人(町民)が必要となります。

地方創生に一番大切なのは、松田町の地元素材を活かす事と考えています。公が何をやるのではなく、自らが何をやるのかを考え実行する事が大切だと思います。「協働と挑戦」を掲げる私としては、地元素材を活かした協働意識を高める事で、自らが挑戦する「キッカケ」を創り、「主人公」である町民一人一人が輝く町になるよう推進して参りますので、今後とも御協力願います。

風

くさぜく

松田町長 本山博幸

『まつだの素材』

毎年5月5日はこどもの日。今年も寄自然休養村管理センターで『若葉まつり』を開催し、約8500人という、昨年より約1000人も多くの皆様に楽しんで頂きました。本年も、ふるさと大使の北川大介さんが祭りを盛り上げてくださり、また、大使としての名刺をお渡しし、松田町をさらにPRして頂けるようにお願いした次第です。

さて、松田町は、古くから交通の要衝として栄えて来た町(栄えて来た分、様々な地元素材が実っている町)。

私は、松田町の先人が大切にしていた地元素材を「温故知新」の思いで、輝かせたいと考えています。本年で建立1700年を迎えた寒田神社や寄神社、神山神社、松田大行列などの町の歴史や文化、地場産品のみかんやお茶やゴボウなどの根菜類などもとより、地域素材として、最明寺史跡公園や松田山の桜、寄のロウバイなどもあります。最近では、ふるさと大使の北川大介さんや山崎一さん人も素材ですし、寄さくらマスなども同様に町を輝かせるための新しい素材です。

ただ、すばらしい素材もそれを活かす人によって変わって来ます。

料理で例えたら、同じ素材でも和食・洋食・中華料理などによっても活かし方は違いますし、料理人の腕次第で事もあろうでしょう。

これからの時代は、情報ネットワークを活用するなど、ニーズに合った地元素材の活用の仕方を考えなくてはなりません。その為には、その素材(物)を活かす料理人(町民)が必要となります。

地方創生に一番大切なのは、松田町の地元素材を活かす事と考えています。公が何をやるのではなく、自らが何をやるのかを考え実行する事が大切だと思います。「協働と挑戦」を掲げる私としては、地元素材を活かした協働意識を高める事で、自らが挑戦する「キッカケ」を創り、「主人公」である町民一人一人が輝く町になるよう推進して参りますので、今後とも御協力願います。

○地元の素材を活かす考え方(自論)

物を作るのは足し算積み重ねて新しい物を作る・引き算(既存の物から、ニーズに合わせて機能を外し、シンプルなものを作る)。

物を作るのは掛け算(物に情報を掛け合わせて顧客の裾野を広げる・割り算(売り上げの伸び率などのデータ管理)。